



ハチドリ基金
応援プロジェクト

上映会のお知らせ

映画

189

あとを絶たない児童虐待——社会の闇に挑む衝撃の話題作

「いちはやく救い出すために——」

189

中山優馬
夏菜
前川泰之 灯 敦生 平泉 成
菅原大吉 福島マリコ 矢柴俊博
赤間麻里子 太田結乃 滝川広志(コロッケ)
吉沢 悠
監督:加門幾生
脚本:長津晴子
音楽:本間昭光
主題歌:降幡 愛「東から西へ」Purple One Star
挿入歌:灯 敦生「指先のミライ」



2023年

1/15(日)

13:30 開場

14:00 ~ 15:50 上映会

◆参加協力費 1,000円

◆定員 230名

◆会場

岐阜県図書館多目的ホール
(岐阜市宇佐4丁目2-1)

※小学生未満の入場はご遠慮ください

◆申込方法 ①グーグルフォームで申込 (当日清算)



②取扱団体のスタッフから購入

- ・あしたの支援室 ・NPO 法人あゆみだした女性と子どもの会 ・NPO 法人キッズスクエア瑞穂
- ・岐阜キッズな(絆)支援室 ・NPO 法人ぎふ NPO センター
- ・NPO 法人グッドライフ・サポートセンター ・一般社団法人さなぎの杜
- ・NPO 法人仕事工房ポポロ ・NPO 法人スマイル Basket ・地域たすけあいの会
- ・NPO 法人チャイルドラインぎふ ・NPO 法人つむぎの森 ・社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会

◆主催・問合せ先 認定 NPO 法人 **ぎふハチドリ基金**

〒500-8384

岐阜市藪田南 5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎 3F ぎふ NPO センター内

TEL 090-8736-9739 (平日 9:00 ~ 18:00)

MAIL hachidori@gifunpo-fund.org

児童相談所虐待対策班で働く新米児童福祉司の坂本は、父親から虐待されている疑いのある少女のケースに立ち会う。虐待を否定し、無理やり娘を連れて帰ろうとする父親。坂本は弁護士の秋庭と共に、父親から少女を守るべく奔走する。

ストーリー

京都多摩南児童相談所虐待対策班で働く新人児童福祉司の坂本大河（中山優馬）は、ある日、シングルマザーの母親に虐待され、一時保護所にいた4歳の藤沢芽衣を母親の元に帰す現場に立ち会う。翌日、大河は芽衣が亡くなったと知らされショックを受ける。上司の安川（前川泰之）から休養を取るようと言われる大河だが、生前の芽衣が「家に帰りたくない！」と訴えていた姿を思い出し苦悩した末、辞表を手に職場へ向かう。その時、父親にひどい虐待を受け、病院に搬送された6歳の増田星羅（太田結乃）のもとへ向かってもらえないかと職場から電話が入る。病院で面会した大河に星羅は、「いまのパパはいない……家に帰りたくない」と告白する。父親の勝一（吉沢悠）は、星羅の傷は「娘が自分でやったこと」と虐待を否定。大河たちが星羅を一時保護すると告げると、「星羅は私の娘だ！連れて帰る！」と怒鳴り出す。医師から「星羅の傷は虐待によるものである可能性が高い」と聞かされた大河は、星羅を一時保護所に預け、弁護士の秋庭詩音（夏菜）と共に虐待の事実を立証し、勝一と妻の典子（灯敦生）の親権を停止にできないかと奔走するのだが……。

映画「189」上映会への思い

認定非営利活動法人ぎふハチドリ基金の応援団有志で組織している「ハチドリ応援プロジェクト」では、今年度が「ぎふハチドリ基金」誕生10周年記念の年であり、映画「189」の上映会を開催することで、今地域社会にある「課題」に目を向けていただき、改めてぎふハチドリ基金の意義を共有したいと考えました。2時間弱の映画にこめられた「つらさ」「生きにくさ」「子どもたちの無償の愛」「つながることの大切さ」などについて考えていただきたいと思います。上映会でお会いしましょう。お待ちしております。

ハチドリ応援プロジェクト
担当 原美智子



ぎふハチドリ基金とは？

ぎふハチドリ基金は、若い世代（子ども・若者・子育て家庭）が抱えている困難を、地域の支え合いで解決できる社会を目指します。

ぎふハチドリ基金は、地域の力で岐阜の未来（子ども・若者・子育て家族）を支える仕組みです。若い世代の抱える困難を早い段階で解決しなければ、困難は次の世代にも引き継がれ、マイナスの連鎖を生み続けます。

地域で活動している団体は、公的支援制度のすき間に陥っている人たちに、支援の手をすぐに差し伸べることができます。

ぎふハチドリ基金の仕組みにより、地域の子どもや若者、子育て家庭のために活動する団体が増えたり、支援活動が継続できるようになります。活動が大きくなれば、公的制度の充実にもつながっていきます。ぜひこのプラスの連鎖を作る力になってください。